

- Plateau, East Antarctica, Nankyoku Shiryô (Antarct. Rec.), 67, 86-100.
- Sreenivasan, K.R., Chambers, A.J. and R.A. Antonia, 1978: Accuracy of moments of velocity and scalar fluctuations in the atmospheric surface layer, B.L. Met., 14, 341-359.
- Takeuchi, K., 1961: On the structure of the turbulent field in the surface boundary layer —analysis of the data obtained at O'Neill, Nebraska, J. Met. Soc. Japan, 39, 346-367.
- Wyngaard, J.C., O.R. Côté and Y. Izumi, 1971: Local free convection, similarity, and the budgets of shear stress and heat flux, J. Atmos. Sci., 28, 1171-1182.
- Wyngaard, J.C., 1973: On surface layer turbulence, Workshop on Micrometeorology, Amer. Met. Soc., 127.
- Yasuda, N., 1978: High-order equations of turbulence and characteristics of turbulence based on their simple solution in the atmospheric boundary layer near the ground, Pap. Met. and Geophys., 29, No. 3, 109-123.
- Zeman, O., and J.L. Lumley, 1974: Modeling buoyancy driven mixed layers, J. Atmos. Sci., 33, 1974-1988.

 NEWS

オーストラリア内陸部で早ばつの被害深刻

オーストラリア東部では、ここしばらく雨らしい雨がなく、内陸部の農村地帯に深刻な被害をもたらし始めている。8月にオーストラリア農業経済局は、昨年度は総額44億6000万豪ドル相当あった農業生産が、今年度はわずか22億豪ドル相当まで落ち込むものとの予測を発表した。オーストラリアに18万戸ある農家のうち、すでに10万戸の農家が何らかの形で早ばつの被害を受けている。農家にとって最も大事な5月から9月までの期間にほとんど雨らしい雨の降らないシーズンが今年で3回目であることから、たとえかなりの雨が今すぐ降ったとしても、被害を受けた農家が立ちなおるには2年から5年はかかるものとみられている。

最大の打撃をうけているのは、オーストラリア産小麦の大生産地であるニュー・サウス・ウェールズ州（州都シドニー）である。今年は、ほとんど州全体で早ばつ被害宣言を出しており、冬期の穀類の生産高は通常の年のわずか3分の1程度にとどまりそうな気配である。シドニーの北西約400kmにある人口約3万のダボー市のアルダーマン・ハリ・クレグ市長は、「早ばつは累積効果を持っている。農家で穀物がとれないと現金が手に

入らないことになり、そのことは、化学薬品製造業者や農機具業者、タイヤメーカー、家畜のプロカー、運搬業者、仲買人や羊の毛刈り職人など、みんなの仕事が減少することを意味している。町の中の販売が低下すれば在庫は増し、商店は店員を解雇せざるをえなくなってくる」と心配している。

ダボー市周辺では5月の初め以来雨らしい雨がいない。3年間にわたって雨が少なかったことから、地中深くまで湿気がなくなり、あたり一帯土がむき出しとなり、地元の人が原住民のことばでいうウィリー・ウィリー* という土ぼこりがみられるようになってしまっている。

ダボー地区の農学者、コル・マレン氏は、今年の早ばつは、少なくとも1965年と1972年の大早ばつに匹敵する大規模なものとみており、ダボー-牧草保護局でも同様の見解をとっている。しかし、現代の早ばつの問題点は、オーストラリアの農業が10年、20年前と比較すると大きく企業化している点である。負債の負担は重く、長びく早ばつは回復するのにこれまで以上の長期間を要する。クレグ市長同様マレン氏も、真の困難は1年後にくるものとみている。

(オーストラリア大使館より
資料をいただきました)

* 今日では dust devils の別名といわれているが、20世紀初め頃には熱帯低気圧を意味する言葉として用いられていた。